

福島第一原子力発電所現地確認報告書

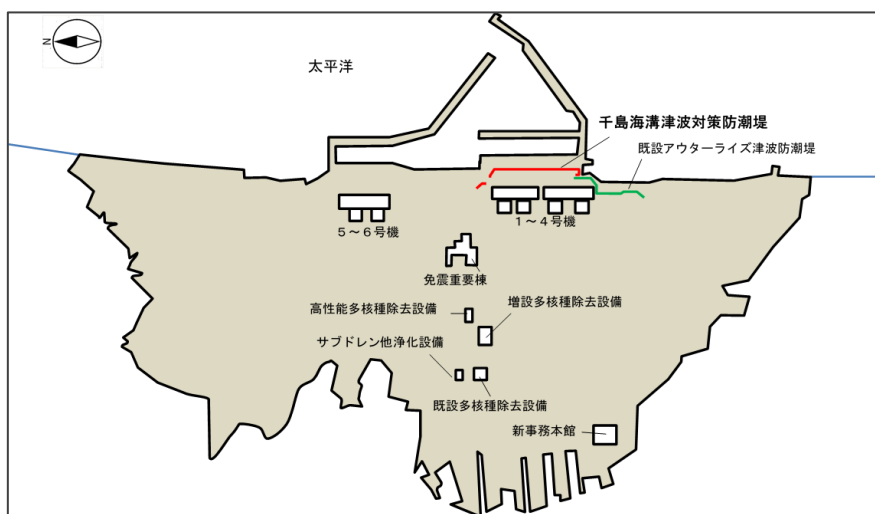
- 1 確認日
令和2年10月2日（金）
- 2 確認箇所
千島海溝津波対策防潮堤設置工事現場
- 3 確認項目
千島海溝津波対策防潮堤設置工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、将来発生が予想され切迫性が高いとされている千島海溝地震に伴う津波に対して、自主的な安全対策として1号機から4号機のタービン建屋東側に全長約600mの防潮堤の設置工事を行っている。（前回確認日：令和2年9月10日）

今回は防潮堤のL型擁壁の据付作業が令和2年9月25日に完了したことから、完了状況及び周辺の状態を確認した。

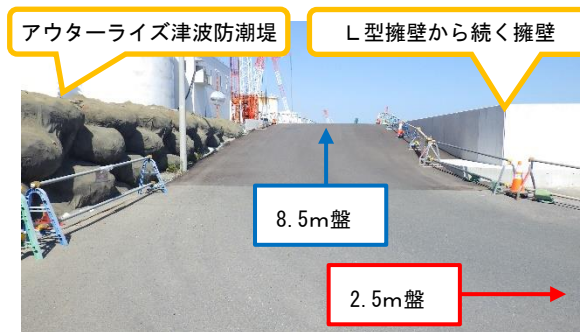
- ・千島海溝津波対策防潮堤の設置箇所は図1のとおりであり、L型擁壁の据え付けは完了していた。（写真1）
- ・防潮堤の接続部は、南北それぞれ、T.P.8.5m盤からT.P.2.5m盤にアクセスするルートを嵩上げし、同じ高さになっていた。（写真2）
- ・防潮堤西側に流入した海水を排水するためのフラップゲートの設置はすべて完了していた。（写真3）
- ・なお、前回確認した側溝の敷設工事やフラップゲート前の地盤整備工事は継続中であった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1)
1号機タービン建屋東側付近
防潮堤北端部手前
(北西側から撮影)



(写真 2)
4号機タービン建屋東側付近
防潮堤南端
(南側から撮影)



(写真 3-1)
4号機タービン建屋東側付近
(フラップゲート 陸側)



(写真 3-2)
4号機タービン建屋東側付近
(フラップゲート 海側)



(写真 4)
1号機タービン建屋東側付近
(北側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。